

(仮称) 狩りから稲作へ拡大委員会 運営方針

副理事長予定者 粕谷 洋亮

委員長予定者 山口 隼平

副委員長予定者 山城 拓也

■委員会テーマ

狩りから稲作へ

団体の認知度を向上し、より質の高い青年会議所運動へ

■委員長所信

この度 2021 年度狩りから稲作へ拡大委員会 委員長を務めてさせていただきます。山口隼平と申します。

2021 年度は調布青年会議所として大事な年になると思っております。

なぜなら 2020 年にコロナウイルスにより、世界情勢が目まぐるしく変わる中、その波が青年会議所にも大きな影響を与えました。頻繁に集まって会議を重ね、事業構築をしてきた青年会議所としては事業を発信できない、集まらない、コミュニケーションがとれないなどコロナウイルスは大きな壁となりました。

そんな中 40 歳で卒業が決まっている青年会議所では、知識をもった先輩がいなくなってしまう。

その為、新しい人材を常に発掘していかなくてははいけません。拡大は青年会議所の 1 つの課題です。今までの拡大委員会はまず、青年会議所とはどういう団体なのか、どういうことを発信しているのかをまず説明し、団体を知って頂いて共感を得てから入会をして頂いていることが多かったと思います。ですがそれでは年度毎に人が入れ替わる青年会議所のシステムとしては、委員会の方針などで入会の人数に安定性がありません。

今年度の拡大委員会は、街の方に調布青年会議所をより知っていただくための手法も 1 年を通して考えていきます。

そして入会して頂いた新入会員と共に、調布青年会議所というものはどういう団体なのかを街の方々に知って頂くにはどうしたらいいのかを共に 1 年間考え、発信し、行動を起こしていく委員会にしていきます。

■担当事業など（予定）

●サマーコンファレンス参加例会

●シニア合同例会の開催【10月例会/公益事業】

●卒業例会・納会の開催【12月例会/共益事業】

○第44回調布福祉祭りへの参画【11月例会/公益事業】

○その他事項

1. 入会候補者の発掘・情報管理
2. 入会候補者へのオリエンテーション

3. 新入会員のファロー、Jaycee としての育成
4. 理事会議事録作成支援
5. 他委員会への定期的な参加・交流

■最後に

2021年度は新入会員の入会と共に、入った新入会員に青年会議所をより深く知ってもらうために活動していきます。